

繁れ 叡智の枝

2021年3月23日(火)

1年生を振り返って～75回生へのメッセージ

主任 細見 祥平

目次：

1年生を振り返って～75回生へのメッセージ	1
進路実現に向けて	4
今後の予定	4
保護者の皆様へ	4



ハイライト：

3月19日(金)に(株)キッズコーポレーションの石橋知也氏による進路講演会を開催しました。将来に向けて意識をもって少しずつ準備をすることや、今できる目の前のことに全力を尽くすことの大切さを教えていただきました。

「受験は情報戦」

2年生に向けて少しずつ準備を始めましょう。

ある大学でこんな授業があったという。

「クイズの時間だ」教授はそう言って、大きな壺を取り出し教壇に置いた。その壺に、彼は一つ一つ岩を詰めた。壺がいっぱいになるまで岩を詰めて、彼は学生に聞いた。

「この壺は満杯か？」教室中の学生が「はい」と答えた。

「本当に？」そう言いながら教授は、教壇の下からバケツいっぱい砂利をとり出した。そして砂利を壺の中に流し込み、壺を振りながら、岩と岩の間を砂利で埋めていく。そしてもう一度聞いた。

「この壺は満杯か？」学生は答えられない。一人の生徒が「多分違うだろう」と答えた。

教授は「そうだ」と笑い、今度は教壇の陰から砂の入ったバケツを取り出した。それを岩と砂利の隙間に流し込んだ後、三度目の質問を投げかけた。

「この壺はこれでいっぱいになったか？」

学生は声を揃えて、「いや」と答えた。

教授は水差しを取り出し、壺の縁までなみなみと注いだ。彼は学生に最後の質問を投げかける。

「僕が何を言いたいのかわかるだろうか？」

一人の学生が手を挙げた。

「どんなにスケジュールが厳しい時でも、最大限の努力をすれば、いつでも予定を詰め込む事は可能だということです」

「それは違う」と教授は言った。

「重要なポイントはそこにはないんだよ。この例が私達に示してくれる真実は、大きな岩を先に入れないかぎり、それが入る余地は、その後二度とないという事なんだ」

君たちの人生にとって”大きな岩”とは何だろう、と教授は話し始める。

それは、仕事であったり、志であったり、愛する人であったり、家庭であったり・自分の夢であったり…。ここで言う”大きな岩”とは、君たちにとって一番大事なものだ。それを最初に壺の中に入れなさい。さもないと、君達はそれを永遠に失う事になる。もし君達が小さな砂利や砂や、つまり自分にとって重要性の低いものから自分の壺を満たしていけば、君達の人生は重要でない「何か」に満たされたものになるだろう。そして大きな岩、つまり自分にとって一番大事なものに割く時間を失い、その結果それ自体失うだろう。

これは、10数年前に話題になった海外のエピソードです。皆さんにとっての「大きな岩」は何ですか？身の回りにはきっとたくさんの「砂利」や「砂」や「水」があふれていることでしょう。でもそれを優先してしまうと、一番大事なものは永遠に入れることができなくなってしまいます。春からは2年生です。優先すべきものを見失わないように。そしてひと回りもふた回りも成長する1年になるよう期待しています。

1組担任 吉竹 美津子

新

々な生活様式の中での高校生活。みなさんはどんな思いで過ごしてきましたか。休みが長過ぎて日常に戻っていきけるか不安…オリエンテーション合宿へ行きなかったなあ…文化祭、やりたかった…体育祭、感染予防対策でプログラムがこれまでと違う内容だったみたいだけど、それはそれでおもしろかったなあ…部活動の試合をもっとやりたかった…など、いろいろな思いがあったことでしょう。さまざま制約がある中でも、できる範囲でできることに、目の前のことひとつひとつに、みなさんが精一杯取り組むことができていたら嬉しいなと思います。そして、例年とは違った生活の中でも、みなさんは、その時その時で柔軟に対応していたし、よくがんばってきたなあ、私は感じています。また、私にとっては、健康でいられることや、何気ないあたり前の日常がありたく幸せなことなのだというを痛感する1年となりました。

次のステップへと進む皆さん。この春休み中に自分の進路についてよく考える機会をもってほしいなと思います。動画視聴の課題がありますが、それに限らず、たくさんの方々に話を伺ってみたり、webなどで調べてみたりして、将来の職業のことや学んでいきたい学問分野のことなどについて考えてみてください。遠回りをしてしまうこともあるかもしれませんが、自分のめざす道を見つけ、一歩ずつ着実に歩いていってほしいと願っています。

1組副担任 仲井 琢哉

高

校生になって1年が過ぎました。高校生活はどうですか？楽しんでますか？

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、休校や分散登校、また行事の中止や変更など様々な制限があり、とても大変な1年間だったと思います。その中で、臨機応変に対応してくれている皆さんを見て、「さすが高校生だな。」と思うことが多々ありました。例年、高校1年生を見ているとまだ中学生だなと感じる生徒が多いです。しかし今年に関しては、様々な問題に対応するために自分の頭でよく考えなくてはならない機会や、自主性・自律性を要する場面が多々あり、精神的に大きく成長した「高校生らしい生徒」が多かったように感じます。

さて4月からはよいよ2年生です。学習面においては文系理系に分かれ、高校の内容が本格的に始まることとなります。1年生の学習内容と比べて、どの科目も難しくなるでしょう。子の春休みの間にしっかり準備をして4月を迎えてください。部活動においては、先輩が引退し、後輩が入ってきます。チームの中心となって活動することになるでしょう。また来年度も1年間、一緒にがんばりましょう!!

2組担任 杉岡 芳樹

も

うすぐ君たちは1年生を終え、2年生へと進級していきます。来年の今頃には「もう最上級生だから…」とか「もうすぐ卒業だから…」などと言われ始めていきます。再来年の今頃にはもう君たちは学校にはいません。次の進路に向かって、各自が準備を始めているころだと思います。

時の流れというのは残酷なほど早いものです。「まだ慌てる時間じゃない」と冷静に構えるのはいいのですが、気づかないうちに時の流れに飲み込まれてしまうこともあります。

だから、本当に大事なものは「今」です。今を真剣に、これ以上ないくらいに本気で過ごすことができている人間だけが、時の流れに置いて行かれることなく、充実した日々を送れるのではないのでしょうか。

行動や意識を変えるなら今です。今しかないんです。さあ、今から始めよう。

「明日からがんばるんじゃない…。今日…今日だけがんばるんだっ…!今日をがんばった者…今日をがんばり始めた者…のみ…明日が来るんだよ…!」※某有名漫画より

2組副担任 岸本 喜明

7

5回生の皆さんが篠山鳳鳴高校に入学して早くも1年が経ちますね。おそらく、2年生の1年は今年よりも時間の経過を早く感じると思います。

高校生活に慣れてしまい、気の緩むことのないようにしましょう。

「受験勉強を始めるのにフライングはありません。!!」と誰かが言っていました。

2年生の1年間を進路実現に向けて充実した1年にしてください。



進路講演会(三月一九日)
「大学入試と高校生活」
(株)キッツコーポレーション
石橋知也氏

3組担任 北垣 和正

2020年4月にこの篠山鳳鳴高校に来てから、もう1年が経とうとしています。本当にあっという間に過ぎたなあという感想しかありません。みなさんと同じように、最初の頃は新しい環境に戸惑いや不安な気持ちがありました。みなさんと一緒に楽しく学校生活を送っていくにつれ、今ではそんな気持ちもどこへやら…。みなさんを見ていると、「ホンマに真面目やなあ〜」と思うことがたくさんありました。もちろん、それはそれで良いことなのですが、「まだまだ物足りない、いや、もっと出来るやろ」と感じることも多々ありました。これからみなさんにはいろんな気持ちを持てるような人間になってほしいと思います。気持ちの「気」を使う良い言葉って、「元気」、「勇氣」、「根気」、「気配り」、「気遣い」など、たくさんありますよね。来年度は、みなさんのそのような良い気持ちが感じられる、目で見られるように期待しています。

3組副担任 井關 敦史

「1年目に種をまき、2年目に水をやり、3年目に花が咲く」。亡くなられた野村克也監督の言葉です。私は彼の著書から多くの影響を受けました。その中で1年目、種をまき終えた75回生に名言をいくつか紹介します。

- ・「失敗」と書いて「成長」と読む（失敗のまま終わらず、改善し成長に繋げる）
- ・「どうするか」を考えない人に「どうなるか」は見えてこない。
- ・努力には即効性がない。しかし無駄な努力などこの世にない。
- ・自分の最大の敵は自分自身。それに打ち勝てるかどうかで人間が試される。

この1年間で新たに築いた“絆”を土台にし、75回生“が飛躍することを期待しています。

4組担任 小川 裕之

最近、急速に視力が低下している。先日も、息子が「パパ、これ見て」と目の前に差し出してきた紙に焦点を合わせるだけなのに、数分掛かった位だ。更には、コンタクトを外せば、1m先の人も物も判別不能な状態である。「もしや、これって老眼の始まりってやつなのか」と愕然としながらも、「いやいや、そんなはずないやろ」と必死で他の理由を探してみると…。

そう言えば、今年度は、やたらコンピューターやスマホを見る時間が増えたなあ…。というのも、コロナ禍で分散登校の時期にリモートの授業があったり、Classroomを使って連絡したり、スタサプが導入されたりと例年とは異なる教育活動が多かったからだろう。もちろん、そういった時代の流れに自分なりについていくのに必要だったのもある。おかげで、今まではチンプン・カンパンだったPC用語に少しは対応できる自分になった気がする。つまり、私は視力と引き換えにPCの操作がちょっとは上達したということなのかもしれない。

人間生きていけば、失うものも得るものもある。個人的には、昨春に長年、家族を支えてくれた愛猫との別れと同時に、君達や学年団の先生方との出会いがあった。失うことはつらいことだけど、新たに得るものは前進する力をくれたように思う。きっと失ったものを嘆き続けて、その場に留まっていたはいけないのだ。

さあ、君たちは、あと数日すれば、上級生だ。絶対に手にしたいものを見据え、それを手に入れるためには何を我慢すべきか考えなければいけない。何でも、アップルの役員は、自分の子供にタブレットやスマホを絶対に使わせないそうだ。理由は、それらの機器は脳を破壊し、考える力を養わないからだそうだ。一時の楽しさより、それより先の充実した人生を見据えてのことらしい。確かに、成功する受験生はスマホとの付き合い方が上手いよね。参考までに…。

4組副担任 吉良 太誠

「二十代の若さを、全財産を出してでも買いたいね」これはソフトバンク孫会長の言葉です。私は、いつもこの言葉を胸にしまいながら生活をしています（本当に笑）。この言葉がどういう意味か分かりますか？若さは財産だということです。若い時の時間はとても貴重なのです（自分もまだ若いですが）。10代の君たちは孫さんの全財産以上の価値を持っているのです。私が言いたいことは、この貴重な時間を無駄にしてほしくないということです。スマホを使うことはいけないことだとはいいませんが、無駄な時間を過ごしていませんか？スマホを見ている時間を勉強する時間に見ませんか？朝の通学の電車の時間、寝る前のinstagramを見る時間を、英単語を覚える時間に見ませんか？君たちはたくさんの可能性を秘めています。その可能性を開花させるか否かは君たち自身で決まります。是非この貴重な時間をみんなの夢のために使ってほしいです。

進路実現に向けて

3月18日(木)は4組(総合科学コース)がインスパイア・ハイスクール事業としてJICA関西(独立行政法人国際協力機構 関西国際センター)を訪問しました。また1~3組は「職業体験ワーク」実施後、TED (Technology Entertainment Design) Talksで公開されている植松努氏の講演を視聴しました。演題は「社会から『どうせ無理』をなくしたい」です。それぞれ内容は異なっても、自らの可能性を見つめる機会となったのではないかと思います。

職業体験ワーク

人生ゲームの形で、職業と収入を仮想体験するワークショップです。人生における様々な選択を体験しながら、楽しくもシビアに進路について考えることができました。



JICA訪問

- 内容
- ①JICA職員による事業概要説明
 - ②JICAボランティアによる活動体験談
 - ③施設見学
 - ④ワークショップ



今後の予定

日時	予定	備考
4月8日(木)	大掃除・着任式・始業式・LHR 入学式(午後)	8:35 旧クラスでSHR 始業式後のLHRで新クラス発表
9日(金)	課題考査(①英語・②国語・③数学) LHR・離任式	課題の提出
10日(土)		<p>新年度に向けての春休み中の連絡は、Google Classroomの「75回生」やホームページの学年サイトで行います。自分のスマホやタブレット・PCそれぞれでGoogle Classroomの「75回生」に参加しておいてください。その際は必ず新しいG Suiteアカウントでログインしてください。また、これまでのClassroomは今後利用できません。</p>
11日(日)		
12日(月)	対面式・情報教育講演会 身体計測(5・6限)	
13日(火)		
14日(水)		
15日(木)	歯科検診(5・6限)	
16日(金)	眼科検診(5限)	
17日(土)		
18日(日)		

保護者の皆様へ

コロナウイルスに翻弄された1年が終わろうとしています。状況は日々変化しており、これまでの日常が突然通用しなくなることもしばしば起こっています。そのような環境の変化に75回生の生徒たちはは強くなやかに対応しながら、成長を続けていると実感しています。4月からは2年生となり、篠山鳳鳴高校の中心を担う学年がスタートします。これまでと同じように臨機応変な対応が求められることもあるかと思いますが、この1年間の経験をもとにして一層成長してくれることを期待したいと思います。

なお、本日学年諸費の会計報告を配布させていただきました。ご確認のほどよろしくお願いたします。

来年度の始業式は4月8日(木)となっております。来年度もよろしくお願いたします。

ホームページもご覧ください
<https://www.hyogo-c.ed.jp/weblog2/homei-hs/>



篠山鳳鳴高校HPアクセス用QRコード